

船舶事故調査報告書

令和元年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成31年3月27日 12時30分ごろ
発生場所	熊本県天草市牛深港鶴崎1号防波堤南方沖 牛深港黒島防波堤灯台から真方位309° 360m付近 (概位 北緯32° 11.2′ 東経130° 00.3′)
事故の概要	プレジャーボートモトは、南東進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成31年4月9日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート モト、5トン未満（長さ2.82m）
船舶番号、船舶所有者等	293-26478熊本、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船外機に擦過傷、プロペラ固定用ピンが脱落
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、家族1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、牛深港鶴崎1号防波堤（以下「本件防波堤」という。）南方沖で船外機を止めて漂泊しながら釣りを始め、本件防波堤寄りに流されては沖合へ移動することを繰り返した。</p> <p>本船は、釣りを終え、船長が、同乗者に魚群探知器で水深を確認させ、約2ノットの対地速力で南東進を始めた直後、同乗者から浅い旨の報告を聞いて減速したところ、浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約0.5mであった。</p> <p>船長は、干潮時に本件防波堤沖を航行した際、近くに干出岩が点在していることを認めていたが、本事故当時、釣りに夢中になり、思っていたよりも浅い所まで流されていることに気付いていなかったと本事故後に思った。</p>
分析	本船は、漂泊中、船長が、釣りに夢中になり、風や波によって干出岩が点在する海域まで流されていることに気付かなかったことから、帰港を始めて間もなく浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、漂泊中、船長が、釣りに夢中になり、風や波によって干出岩が点在する海域まで流されていることに気付かなかったため、帰港を始めて間もなく浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漂泊しながら釣りをを行う際は、風などによって干出岩が点在する

	<p>ような危険な海域に流されることがないように適宜防波堤との距離を確かめるなどして船位を確認すること。</p>
--	--